



流山市議会議員

もりた 洋一



YOICHI MORITA

議会レポート No.15

会期：平成22年12月2日-12月22日

E-mail: moritayoichi2007@yahoo.co.jp

発行  
森田事務所  
TEL 04-7189-8277  
FAX 04-7189-8278

私の3大スローガン

①「私は貰っていません」

- 議員報酬の20%を、発展途上国支援などのために別口座にプールしています。
- 政務調査費は使っておりません。政策研究や議会レポートの作成費用は全額自己負担です。

②「もっと改革を」

③「クリーンで元気な流山の創造」

どんな内容の審議であったか？

- ① 指定管理者の指定が議決された。市内福祉会館、生涯学習センター、体育施設、コミュニティープラザ、一茶双樹記念館などが対象。
- ② 流山市文化会館耐震補強及び改修の工事請負契約（約2.4億円）締結が承認された。

公約の実現状況

※裏面の実現状況を参照ください。

市政の一般報告より

国際姉妹都市の候補地は、ムルデルの関連でオランダのライデンとデルフトとなった。今後、大使館などを通じて交渉に入る。

◎身近なご相談、お待ちしております◎

- ご依頼** 三輪野山からコミュニティープラザへの道、見通しが悪い。
- 対応** →「スピード落とせ」の表示と公園樹木の枝を切り対応。（三輪野山）
- ご依頼** 夕方暗くなり危険で、防犯灯設置が必要。
- 対応** →市から自治会経由で設置要望を伝える。（向小金）
- ご依頼** 空き地に雑草が生えている。
- 対応** →市より土地所有者に対応を依頼中。（加）



その他

来年4月の改選に際し、現在の議員定数28名を24名（4名削減）にするよう条例改正を求める陳情が9000名以上の署名とともに議会に提出されました。同時に議員定数を30名にする陳情も提出されました。結果は、双方不採択となりました。私は議員定数削減の陳情採択の立場を取りました。



もりた洋一の一般質問



1. 子育て支援について

- (1) 待機児童ゼロの方向性はどうなっているか。  
答：定員360名増により一時的に解消できる。おおたかの森地区の保育需要は増えているので、保育所整備を県と協議中。当面、国基準の待機児童解消を目標として、求職者などへの対応は第2ステップとする。
- (2) 第2子出産による育児休暇取得者への支援策はどうなっているか。  
答：平成23年4月1日より育児休業中の保育の継続期間を1年とする。現状の6ヶ月の期間設定については、近隣自治体と同様の水準にしたいと考えていたところである。
- (3) 子育てにやさしいまちを定着するために定住人口を増加させるべきでは。  
答：子育て施策充実がブランドイメージを高め定住人口を増加させると考える。

2. 国際化施策について

- (1) 国際姉妹都市締結の検討状況はどうなっているのか。  
答：執行部は先日、オランダ大使館を訪問し、オランダの候補都市（ライデンとデルフト）への打診をした。候補地選定には、歴史的・普遍的つながりからオランダ人技師ムルデルと利根運河が相応しいと考えた経緯がある。また、日本とオランダの皇太子殿下が9月14日に利根運河を訪れている。

3. 日曜日の出張所利用について

- (1) 過去の運用実績を総括してどうとらえているか。  
答：日曜情報センターとして出張所の有効利用（156回開催延べ1万人来場）がはかられた。今後も情報発信の拠点とする。
- (2) 日曜日と祝日の運用をどう考えるか。  
答：日曜日開所には、勤務体系や苦情処理など課題が多くあり現状のサービスを継続していく。
- (3) 日曜情報センター含め今後の方向性は。  
答：おおたかの森北口の市有地の土地活用の中で考えていく。

4. 宿泊施設の誘致について

- (1) おおたかの森市有地にホテル誘致をしてはどうか。  
答：流山おおたかの森北口の市有地は、平成25年度に引渡しが予定されている。ホテルなど宿泊施設誘致の要望も多くある。今後ホテル立地に向けた事業スキームの検討や企業のヒアリングを実施し可能性を検討する。